

令和 7 年度 第二長崎慈光園地域連携推進会議 議事録

開催日時 令和 7 年 11 月 13 日(木) 9:30~11:00

開催場所 長崎慈光園 本館2階会議室

司会 福田祐也 記録 一瀬純恵

1. 園長挨拶

- ・第二長崎慈光園の森園長より、参加者への感謝が述べられた。
- ・会議の目的は、情報共有・意見交換・施設見学を通じて、施設の環境や利用者の様子を確認し助言を得ること。

2. 会議趣旨説明

○ 概要

- ・令和 7 年度から、障害者支援施設および共同生活援助グループホームにおいて、年 1 回以上の「地域連携推進会議」の開催が義務付けられる。
- ・本会議は、施設の外部関係者が参画し、事業運営の透明性を高め、福祉サービスの質を確保することを目的とする。

○ 目的

- ・地域住民に施設や利用者の障害についての理解を深めてもらう。
- ・施設が提供するサービスの透明性と質を確保する。
- ・利用者の権利擁護を推進する。
- ・利用者が地域の一員として、意向が反映された生活を送れるよう、施設側が改善を図る。

3. 参加者紹介

- ・川棚町役場 住民福祉課 社会福祉係 主任主事: 岡積純子 様
- ・東彼地区障がい者支援センターエール 相談支援員: 内山あすか 様
- ・第二長崎慈光園利用者ご家族: 山下憲治 様
- ・第二長崎慈光園ご利用者様: 男女 2 名
- ・第二長崎慈光園 園長: 森節子
- ・第二長崎慈光園サービス管理責任者: 松永寛人
- ・第二長崎慈光園 参事: 一瀬純恵
- ・第二長崎慈光園 班長: 福田祐也
- ・第二長崎慈光園 副主任: 田川恭子
- ・第二長崎慈光園 支援員: 横丁貴洋

4. 施設内見学

- ① 女性棟利用者のピザ作りの様子を見学
- ② 男性棟利用者の清掃の様子を見学
- ③ 男性棟・女性棟の施設内見学

5. 第二長崎慈光園の現状

○ 施設・法人全体構成と定員

- ・法人は第一から第四、相談支援（あしすと）、法人事務局に区分
- ・第二長崎慈光園施設入所：定員 40 名、在籍 37 名（男性 23 名・女性 14 名）
- ・生活介護「にこやか」：定員 40 名（入所一体型）
- ・短期入所：併設、2 名利用可能（現状は男性のみ受入）

○ 重点目標

- ① 主役はすべての利用者
- ② 職員の意識向上と結束
- ③ 地域・社会により溶け込む

○ 利用者の年齢・在所・支援区分

- ・最年少：男性 20 歳 7 ヶ月、女性 25 歳 11 ヶ月
- ・最高齢：男性 76 歳 3 ヶ月、女性 70 歳 11 ヶ月
- ・平均年齢：57 歳 4 ヶ月、60 歳以上が 21 名（37 名中 56%）
- ・在所年数平均：男性 30 年 7 ヶ月、女性 14 年 9 ヶ月、全体 24 年 7 ヶ月
- ・グループホームから身体状況悪化で戻る事例が増加
- ・支援区分平均 4.65（原則区分 4 以上で入所、既存入所の区分 3 が 2 名）

○ 施設・日中活動の現状

- ・男性棟・女性棟の居室、浴室、食堂の運用（同一方向での配膳・食事）
- ・タオル畳み、DVD 体操などの作業・レクリエーション
- ・セラピスト（ST・PT・OT）による個別リハビリ（嚥下・発語、機能維持・改善）
- ・高齢化に伴う排泄・入浴等の介助度増加が顕著

○ 年間行事・外部参加

- ・誕生会は月 1 回～隔月で実施
- ・太鼓セラピー、室内レクリエーション、グラウンドゴルフ、七夕、調理体験、夏祭り、紅葉祭
- ・保護者招待行事あり、他事業所とも連携
- ・社会貢献：周辺のゴミ拾いボランティア
- ・日帰り旅行：九十九島海きらら見学、ハウステンボス・ホテルオークラでランチ、ショッピング
- ・忘年会：前年は波佐見町「割烹堀江」で開催。今年は佐世保市「レオプラザホテル」で予定
- ・外部主催：ゆうあいスポーツ大会、ティーボール、町の文化祭出展、川棚竹灯籠まつり（今年度で最後、準備のみ参加予定）

○ 短期入所事業の補足

- ・在宅者の冠婚葬祭・介護者休息（レスパイト）目的で利用
- ・今年度：特別支援学校高等部の就労体験期間に短期入所を活用し、生活介護事業「すまいる」へ通所された実績あり

6. 施設内見学振り返り、質問・意見交換 及び次回以降の議題、日程

○ 認知症・高齢者施設への移行に関する質疑

- ・知的障害者の認知症診断は基準が難しい
- ・今年度、骨折で自力歩行不可となった方が老健等へ移行（リハ病院相談員が連携、退所扱い）
- ・年齢層の上昇により活動調整が難しく、若年者と高齢者で活動量差の課題

【結論】

- ・高齢化に伴う介助度上昇と活動調整が継続課題

○ 参加者の所感・要望

- ・見学の感想（生活の実態理解が進んだ旨）
- ・今後の見学希望やテーマ要望を募集（現場見学や経営的テーマの説明も検討）
- ・次年度の会議開催予定及び内容拡充の意向

【結論】

- ・地域連携・家族参加・社会参加を維持しつつ支援体制強化を図る
- ・次年度に向け、見学・説明テーマの希望を募り準備を進める